

活け花教室を開催しました

11月21日（木）、低学年の児童が山崎伊津子さんに花の活け方を教わりました。花を活けるための花器も一緒に手作りし、子どもたちが思い思いに飾り付けをしました。花を活けることで、季節の移ろいに敏感になったり、表現力や集中力が身についたりします。そして、何より心がリラックスします。とても貴重な体験をすることができました。ありがとうございました。



↑どれも素敵な作品ですね

花苗植えへのご協力、ありがとうございました

11月28日（木）地域サポーターの方と一緒に花の苗植えをしました。他のフェスタと日にちが重なり、大変忙しい中、18名も来校してくださり、子どもたちと一緒に活動をしてくださいました。

毎度感心することですが、子どもたちの数倍手際がよく、速く美しく苗を植えることができました。ありがとうございます。

パンジーは愛の告白の際贈られる花としても有名で、花言葉は「わたしを思って」だそうです。小学生なので愛の告白はまだ早いですが、パンジーを見た人に、子どもたちの優しい心が伝わればよいと思います。

また、この花々は、卒業式の花道を飾る予定です。今年度もあと4ヶ月。6年生が笑って卒業してくれるよう頑張らねば、と思いを強くした花の苗植え会でした。



小・中・高合同避難訓練→残念ながら中止

11月29日（金）、岩国高校広瀬分校、錦中学校との合同避難訓練を実施する予定でした。毎年の恒例行事ですが、広瀬分校が休校となるため、今年度が最後になるかもしれない行事でした。しかし、天候は雨。泣く泣く中止としました。

ただ、本校で予定していた地震対策避難訓練については実施することができました。みんな教わったとおり机の下に隠れ、上手に対応することができました。

その後、避難した体育館で、『児童が登校した後、線状降水帯により「大雨特別警報」が発表された。



あなたが校長ならどうしますか？』という問いについてみんなで考えました。「校外へ避難する」という回答もありましたが、状況によっては困難です。岩国市が作成しているハザードマップによると、本校がある地域の『一定の条件の下で大雨が降った場合、河川氾濫時に想定される浸水の深さ』は1～5m未満となっています。河川氾濫の可能性がある場合、学校外へ出ることも、保護者に迎えに来ていただくことも相当の危険が伴います。幸いなことに本校は頑丈なつくりで3階建てなので、状況によっては本校に留まり垂直避難をする可能性があるということを伝えました。正しい知識と情報が、自分の命を守ることにつながるのだということを子どもたちにわかってほしいです。

前述した地震対策避難訓練でも、グラウンドに面している1・2年生教室なら、机に隠れるよりも、グラウンドに飛び出して校舎から離れた方が安全の場合もあります。そういうことを判断し、行動できる人を育てていきたいと、私たち教職員は考えています。

山口博物館に出前授業をしていただきました

12月6日（金）、山口博物館のMT（ミュージアムティーチャー）による出前授業がありました。中学年は車輪がついて走るロボットを、高学年はドローンを使用してプログラミング教育の授業を受けました。実は数年前、私もMTをしており、各学校に赴いては授業をしていました。大きな学校では数名に1台しかロボットがありませんが、本校は一人に1台割り当てられ、自分の思うようにプログラミングをすることができます。小規模校の良さのひとつですね。授業の最後には、決められたよう



にロボットが走るよう、考えながらプログラミングをするようになります。コマンドを書き込んで走らせてみて、うまくいかなかったらまた書き直して……。トライアンドエラーを繰り返して自分なりの納得解をみつけていく学習は、普段の授業ではなかなかできません。とてもよい学習をさせていただきました。MTの皆様、ありがとうございました。